

カトリック二俣川教会
教会だより



二十六聖人

2022年10月号

No. 351 (2022年9月25日発行)

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296

<http://www.futamatagawa-cc.com/>

主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

巻頭言：ロザリオの月を迎えて

小学校三年生の年の冬休みの間、わたしは「初聖体」を受け、人生初めてイエス様のご聖体をいただきました。その時の気持ちはとても嬉しかったですが、何よりも、「これからはわたしも他の兄弟姉妹たちと一緒にご聖体を頂けるんだ。」という喜びが大きかったです。でも、その喜びのためには多くの努力が必要でしたが、それは「初聖体の勉強会」のことでした。大体丸一ヶ月の間、ほぼ毎日教会に通いながらいろいろなことを学びましたが、それと別に宿題もありました。その宿題とは、「カトリック教会の重要な祈りを覚えること」で、「十字のしるしをきるときの祈り」を始め、「ロザリオの三つの神秘の十五の黙想」まで、およそ二十個の祈りを覚えなければなりませんでした。（その時代にはまだ、「光の神秘」がありませんでした。）大変なことでしたが、何とかしてようやくそれを全部頭に入れることができました。そし

て、最後に主任神父様からの口頭試験を受け、初聖体をいただけたわけです。

ところで、その祈りを覚えるのは勿論難しかったですが、不思議なことに、「ロザリオの三つの神秘の十五の黙想」は本当に覚えやすかったです。なぜなら、ロザリオの黙想には順番があり、それはイエス様の一生のことだったからです。それで、聖母マリアの胎内に宿られたことから、その聖母マリアに天の女王の冠が授けられたことまで、とても楽に覚えることができたわけです。いや、もっと正しく言うと、それらの黙想を覚えることによって、イエス様の一生を学ぶことや、聖母マリアがその一つ一つの節目をどういう心で迎えたのかも少しずつ考えてみることもできたのです。そこで今は、その時、他の祈りは勿論、特に「ロザリオの神秘」を覚えることができたのが、「初聖体の特別な恵み」だったと思っています。

十月になって教会は「ロザリオの月」を迎えました。わたしにとってロザリオの祈りは、イエス様が歩かれた「十字架の道行き」の他の形の祈りのようなものです。伝統的に「十字架の道行き」の祈りをささげる際には、その道を聖母マリアも共に歩きながら、イエス様の苦しみに聖母マリアも与ったことを黙想することが勧められています。でも、それはロザリオの祈りも同様だと思います。つまり、ロザリオの祈りは、イエス様の一つ一つの節目を迎えた聖母マリアの心や姿を黙想しながら、聖母マリアの取り次ぎを求める祈りなのです。確かにロザリオの祈りは、わたしたちの信仰の模範である聖母マリアと共に捧げる特別な祈りであり、その祈りによる恵みも豊かに与えられると思います。

幸いなことに、2002年10月16日、教皇ヨハネ・パウロ二世は伝統的なロザリオの三つの神秘に「光の神秘」を加えました。この光の神秘の黙想はイエス様の公生活の五つの出来事となっていますが、いったい聖母マリアとイエス様の公生活とはどんなかわりがあるのでしょうか。よく考えてみると、それは聖母マリアがイエス様の公生活にもあらゆる形で与っていたことを、教会が信仰的に告白することに違いありません。つまり、洗礼者ヨハネから洗礼を受けられ、メシアとしての道を歩み始められたイエス様に、聖母マリアは肉身の母親ではなく、信仰のある人として

従い始め、その道をイエス様と共に歩き抜いたということです。光の神秘によって、わたしたちもその道に招かれているのが、もっとはっきり示されたような気がします。

伝統的にカトリック信者には、「主日と大きな祭日のミサに与る義務」があります。しかし、どうしてもその義務を果たすことができない場合、その義務の代わりに「主の祈り三十三回」か、或いは、「ロザリオの祈り」をささげることが勧められています。しかし、主の祈り三十三回はその昔からの慣習的なことで、今は、ロザリオの祈りや聖書朗読、或いは、善行などが進められています。とにかく、新型コロナウイルスの影響で、信者の基本的な義務である「主日と大きな祭日のミサへの参列」に対する意識が薄れゆくような気がします。そんなさ中で、どうかこの十月からはロザリオの祈りをささげながら、その意識は勿論、各々の信仰心も回復され、また、強められることを望んでおります。ただそういう義務の代わりにロザリオの祈りが用いられることでなく、それをささげることによって、わたしたちも聖母マリアと共に、ロザリオ、すなわち、「バラの道」を歩み続けたら幸いと思います。

ロザリオの聖母マリア、信仰の弱いわたしたちのために祈りください。アーメン。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

9月教会委員会報告

【司祭】シノドス 8 番目の質問に関してお話をされました。詳細は「～シノドスへの準備のための 10 の質問より～」の記事をご参照下さい。（p. 5～6 に掲載）

【今月の検討項目】

1. 新しい「ミサ式次第」

教区発行の新しい「ミサ式次第」を、9月下旬から10月上旬に配布する予定です。各自のレターケースに一部ずつ入れ、またロビーにも平積みします。新しいミサ式次第は、信徒一人一人が必ず知っておくべき大事な事なので、家族の分も含めて、必ず受け取ってください。

2. ステンドグラス設置検討

第一回アンケートの結果は回答総数 113 名、そのうち検討継続賛成は 99 名、検討継続反対は 14 名でした。アンケートに記載された意見要望をまとめたものを皆様に配布し、「二十六聖人」にも掲載します。検討継続に賛成する方が多かったので具体的検討を行うための委員会を立ち上げることにします。委員を公募しますので是非応募してください。なお、実際にステンドグラスを作成するかどうかはその検討結果を見てから決めることとなります。

3. 敬老の日お祝い

77 歳以上の方 320 名にお祝いメッセージカードをお送りします。とくに米寿喜寿の方はミサの中でお祝いします。なお、最高齢のベルナデッタ H. Y. さん（本年 12 月に 100 歳）は、神父様が定期訪問されていますので、そのとき敬老のお祝いをする予定です。

4. 日本二十六聖人を知る企画

当教会の守護聖人である日本二十六聖人をもっと良く知るための企画プロジェクトチームを発足させます。

5. 教会案内板など

当教会を訪れる他教会の方や未信者の方のために、教会入口と祭壇前に日本語案内板を設置しました。英語版も作成する予定です。また、教会入口に「二十六聖人」「教会 50 年史」を置いて、自由に持ち帰れるようにしました。

6. 教会ホームページの保守管理

教会ホームページの作成に使用しているソフトの不具合でホームページが閲覧できなくなる問題が発生しました。広報委員会では技術的に対応できないので、専門業者に、ソフト更新とホームページの保守管理支援業務を委託することにしました。

7. 聖堂雨漏り修理

聖堂の告解室で雨漏りが発生しました。当教会を建設した岡山建設に修理を依頼します。

8. 印刷機およびコピー機の更新

事務所の印刷機と二階のコピー機が経年劣化したので更新します。

9. 事務所蛍光灯 LED 化

省エネを目指して事務所と一階階段下給湯室の蛍光灯を LED 化しました。

10. 各会報告

1) 典礼： 10 月はロザリオの月なので週日ミサ 10 分前にロザリオの祈り一連を唱えます。

また、適切な時期に新しい「ミサ式次第」を神父様から説明していただきます。

2) 教会学校： 9 月 18 日 10 時から教会学校を再開します。

3) キリスト教講座： 8 月 31 日から二学期を始めました。盲導犬を連れた方が来られていますので、どうぞ歓迎してください。

4) 財務： 献金収入減少傾向のなか雨漏り修理など大きな支出が続いています。儉約を心がけてください。

5) 広報： 惜しまれながら伐られた枝垂桜をテーマとして「世の光」を発行しました。

6) 福祉： クリスマスプレゼントを送っている横浜療育医療センターからのお礼の訪問がある予定でしたがコロナ禍のため中止となりました。同センターへの本年分のプレゼント作成を、アンナ会と青年会にお願いしました。

7) 建物： 聖堂廻りの土壌露出部に除草シートを張りました。

8) 共同墓地： 特にありません。

9) ヨセフ会： 9 月 25 日に例会を開きます。

10) マリア会： ステラマリス帽子を編む会が第 3 金曜、第 4 木曜のミサ後から 13 時まで活動中です。アンナ会は第 2 第 4 月曜 10 時から 12 時に開催します。野のゆり会は 5 月に解散したので、マリア会のホームページから削除しました。

11) 青年会： 敬老の日に向け米寿喜寿 36 名の方のお祝いカードを作成しました。

12) インターファミリー： 7 月 31 日に定例会を実施しました。次回は 9 月 25 日の予定です。

以上

～シノドスへの準備のための 10 の質問より～ 第 6 回

⑧ 「権威と参加」

教会や教区の目標、その達成のための方法、踏むべき段階は、誰が、どのように決定していますか。チームワークと共同責任は、どう実践されているでしょう。信徒の参加はどうでしょう。教区レベルで、共同決定・共同責任を実践する機関はありますか。その実りと妨げはなんでしょう。

（姜神父様のコメント）

以下、質問の原文です。「シノドス的教会は、参加型で共同責任を負う教会です。わたしたちの教会共同体は、追求すべき目標、それに到達する道筋、踏むべき段階をどのように特定するでしょうか。わたしたちの地方教会の中で、どのように権威と統治は行われているでしょうか。チームワークと共同責任はどのように実践されていますか。誰がどのように見直しをしていますか。信徒奉仕職や信徒の責任はどう推進されていますか。地方レベルにおいて、実りあるシノダリティの経験をしてきましたか。地方教会レベルでシノドス的機関（小教区と教区の司牧評議会、司祭評議会など）はどのように機能していますか。どのようにすれば、わたしたちの参加やリーダーシップにおいて、よりシノドス的な手法を発展させることができるでしょうか。」

ここで私が注目したいのは、「シノダリティの経験をしてきましたか」という部分です。そもそも教会自体が参加系で共同責任を負う共同体なので、その元々の形を失わないようにするためには何が必要ですかということです。必要なのは、シノダリティ的な経験を積み重ねていくことです。つまり、私たちが気づかないうちにこういった教会の元々の形を経験したことがあるかもしれないし、全く経験したことが無いかもしれません。とにかく教会は、みんなが追求すべき目標に対して議論して、みんなが道筋を調べて、探して、そういう風に動かなければならないということです。その中には権威を持っている人がいて、その人が決定したり導いたりするわけです。人間共同体ですからそういう組織的なことは必要だと思いますが、皆さんを参加させるためにはどうしたらいいかということです。ほとんどの信者さんたちはそういうことを経験したことが無いので、教会には神父様がいて、教会委員会があるから、教会の様々な仕事に関しては司祭や教会委員や担当委員会などがなんとかしているという風に理解しておられると思います。そうではなくて、とりあえずみんなが共にする、一緒にする共同体です。教会委員会である私たちだったら、まるで二俣川教会の信者の皆さんを代表するグループという印象があるかもしれません。実はそうではありません。私たちが 2000 人くらいの信者の皆さんの代表ではないし、2000 人くらいの信者さんが私たちを選出して私たちがここにいるわけが無いということです。ただ私たちは集まって、教会としてはこういう活動が必要なのでなんとかして二俣川教会を活発的に動かしたいという気持ちを持っています。活発的に動かしたいと思っても、信者の皆さんを招く活動ができなくなったら実際の活動は私たちだけの活動となってしまう、私たちだけが決めたり動いたりすることになります。そうすると、ほとんどの信者さんたちはシノダリティ的な経験をする機会さえ持てないこととなります。

これまでも教会委員会で何度も話していますが、私たち 20 人くらいの中でも、これはこの委員会の仕事、これはこの委員会の役割…ということで、他のメンバーや委員会の意見を聞こうとする姿勢がなかなか見えません。例えば二十六聖人委員会があるとしたら、二十六聖人委員会はこんなことで困っているので助けてください、プログラムをうまく行うためにはどうしたらいいか？など意見を求める様子が必要ですが、恥ずかしながら韓国でも日本においても経験したことがあまりありません。私たち 20 人ほどのメンバーたちがまず、シノドス的な経験をすることが大事です。今までやったことが無いのでこれをやろうとしたらとても勇気が必要です。つまり、自分のいまの有様をそのまま素直に皆さんと共有することはとても難しいことだし、人間的な感覚としてもそこまでやるべきか？という思いや、自分の弱いところをオープンにするのが難しいと思うこともわかります。望ましいのは、教会は参加系で共同責任を持っている共同体だから逆にみんなと一緒に責任を負ってくれる、そういう共同体となることです。そうすれば、もっと積極的な意見交換や議論ができ、二俣川共同体が一つの体となることができると思います。そういうことを考えて、「権威と参加」が対立するものではなく、むしろ権威ある人は他の信者さんたちを「招く」権威を持っているという認識を持って一人一人の役割を果たして下さったらありがたいと思います。

7月・8月・9月の二俣川教会

- 7月10日（日）神奈川第三地区共同宣教司牧委員会が二俣川教会で開催され、第三地区典礼委員会より、以下の報告がありました。
「2022年11月27日（待降節第一主日）から『ミサ式次第』が変わります。新しいミサ式次第の説明動画を作成して9月中に配信する予定です。」
- 7月25日（月）は神父様の霊名である聖ヤコブの祝日でした。その前日の7月24日が主日でしたので、11時のミサでお祝いをいたしました。前庭には、お祝いとしてさしあげたひまわりが可愛らしく咲いています。
- 8月の教会委員会は、例年に倣い、休会でした。『二十六聖人』も休刊しました。
- 9月4日（日）休刊した『二十六聖人』に代わり、教会の枝垂れ桜の思い出を特集した、寄稿誌『世の光』が発行されました。
- 10月10日（月・祝）に、カリタス女子中学高等学校で、「第54回一粒会大会」が開催されます。事前に、どのくらいの数の参加者があるかを調べ、改めて参加申し込み者を募りました。結果、申込者は17名で、参加枠は20名割り振られましたので、3名の新規申し込みが可能でしたが、8月末に締め切られました。

敬老のお祝い

本年もコロナ禍にあって、一堂に会してミサを捧げ、敬老の集いのお食事会を行うことは叶いませんでしたが、二俣川教会の敬老のお祝いの対象者(77歳以上)の皆様(284名)へは神父様のお祝いカード・教会からのお手紙・教皇様が7月に出された「祖父母と高齢者のための世界祈願日」のメッセージを郵送しました。



10日と11日は、米寿(9名)・喜寿(27名)の皆様のお祝いの意向ミサとしました。ミサに集うことが叶わなかった皆様も含め記憶し、感謝を込めて共にごミサを捧げました。神父様から祝福をいただき、教会からのお祝いの品をお渡ししました。今年は青年たちが米寿と喜寿の皆様のために特別なカードを手作りしました。共同体の繋がりとぬくもりを感じるひとときとなりました。



←青年たちが作ったカード

また、毎月訪問されている神父様に同行し、二俣川教会最高齢のベルナデッタ H. Y. さんのご自宅を訪問し、お祝いを申し上げ、花束をお渡ししました。小さなお体を更に小さくされ、謙虚にお祈りされるお姿に胸を打たれました。現在99歳、今年12月25日に100歳になられる H さんは、神父様のお願いに応えられて、いつも私たちのために祈って下さっています。私たちも感謝のうちに祈りあって参りたいと思います。

教会委員会



新連載

『日本二十六聖人 を 知ろう!』

～ 学び、共に歩む ～

Vol. 1 : 日本二十六聖人のお名前紹介



(教会入口を入ったロビー左側の壁一面に展示されている日本二十六聖人)

今年、一人の信徒から、二俣川教会の守護聖人である日本二十六聖人をもっと知りたいという提案がありました。教会委員会ではこの提案を真摯に受け止めて、プロジェクトチームを発足させ、日本二十六聖人をよりよく知るにはどうしたらよいか、聖人たちに学ぶという姿勢で歩む為にはどんなことが必要かを調べようとしています。広報委員会では、その手伝いをするべく、今月号から『日本二十六聖人を知ろう!』という新連載をスタートします。

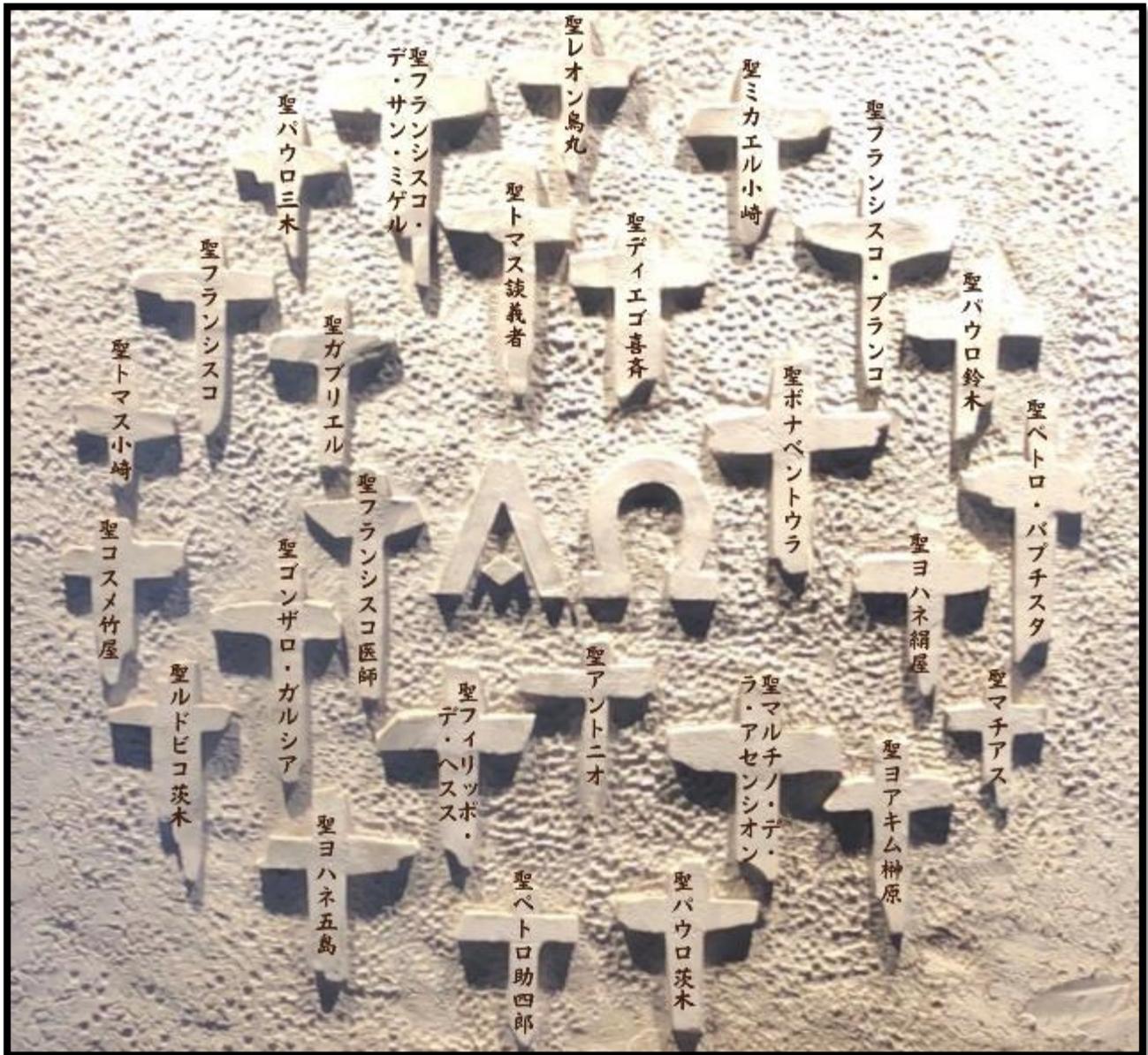
来年2月5日の日本二十六聖人殉教者の記念日に向けて、5回の連載です。

- ☆ Vol. 1 : 日本二十六聖人のお名前の紹介
- ☆ Vol. 2 : 日本二十六聖人を守護聖人としている教会の紹介
- ☆ Vol. 3 : 日本二十六聖人に関連する書物の紹介 (1)
- ☆ Vol. 4 : “ (2)
- ☆ Vol. 5 : 長崎西坂への道 巡礼の地図 2月5日に向けて

以上のような内容を予定しています。信徒の皆さまのご意見も募集いたします。

日本二十六聖人、26人ひとりひとりのお名前をご存知ですか？下の写真は長崎の二十六聖人記念館にあるモニュメントの十字架に、聖人のお名前をあてたものです。

(聖人名表記は二十六聖人記念館の表記参考)



『わたしはアルファであり、オメガである』 黙示録 1:8

自らの十字架を担ってそこに集い、命を捧げた二十六人の聖人たち。

←記念館の実際のモニュメント

常設ステンドグラス製作検討アンケート結果 (第1回)

7月30日から8月21日まで『常設ステンドグラス製作検討継続』に関する第1回のアンケート調査を行いました。回答総数113名、うち賛成99名、反対14名でした。ご協力ありがとうございました。同じようなコメントはまとめ、カッコに数字で表記しました。

【賛成総数99名：コメント有り78名、チェックのみ21名】

- 1：これから二俣川教会を担っていく若い方々の意見を中心に検討していく形が良いと思う。
- 2：二俣川教会にも美しいステンドグラスがふさわしいと思うから。
- 3：ステンドグラスは心を和ませてくれる。愛と信仰、やすらぎを感じさせる。(2)
- 4：あまり高額にならないければ良いのではないのでしょうか。
- 5：聖堂のステンドグラスを見る度に、私も含め信者の皆さんが信仰を深めることができると考えるから。
ステンドグラスからの光は教会での信仰の光。
- 6：美しい聖堂も良いと思います。温もりのある聖堂になると思います。(6)
- 7：常設できる形でのステンドグラスを設置し、雰囲気を保ちつつもお祈りに来たくなると良い。
- 8：クリスマスの際、大変きれいで、聖書の内容がわかりやすいと感じるからです。(2)
- 9：教会で美しいものを目にできることは嬉しいです。
- 10：ステンドグラスがある方が良いと思う。(5)
- 11：窓から差し込む信仰の光はなんと素晴らしいことでしょう。是非ステンドグラスを設置下さるようお願いします。図案は十分多くの方々の意見を聞きましょう。
- 12：ステンドグラスの光が美しく、癒され、またその光が外へ向かい少しでも世の中を明るく照らす気がする。
- 13：ステンドグラスのデザイン、費用、特に聖堂内の照度・照明(2階のステンドグラス参考に)
- 14：大変素晴らしい案だと思います。是非進めてください。楽しみです。(2)
- 15：祭壇の2つの窓だけなら賛成。信者さんの中には今の状態で静かに祈りたい人がいます。
- 16：今の教会建設の時予算の関係上叶えられませんでした。今回このお話が出され大変嬉しく思います。
- 17：ステンドグラスを見たいということがきっかけになって教会に足を運ぶ人が増えるかもしれない。そのような方々を温かく迎えることで信仰に導かれる方が増えるかもしれない。
- 18：カトリック教会にはステンドグラスがあるのが一般的。教会らしくなる。(11)
- 19：教会にステンドグラスが入ったらとても神聖な気持ちになると思います。一人でも多くの方々(信者でない人でも)助けを求めている人達に癒しの空間ができれば素敵だなあと思います。
- 20：ステンドグラスがあることで、やはり豊かな雰囲気が醸し出され、心が落ち着きを増すように思えるのでぜひ設置をご検討ください。(3)
- 21：いつも光が入って明るいですが、昨年のクリスマスのステンドグラスを観ますとステキでした。少し華やいだ気分になります。夜は照明があたるといいですね。
- 22：昨年のゼロファンステンドグラスが素晴らしく、皆さんに喜んでいただけたので。(13)
- 23：教会と言えばステンドグラスのイメージ。現在は少しさみしい気がする。献金がなければなお良し。
- 24：Bright and Beautiful.
- 25：Colorful, bright like a rainbow, very pleasing to the eyes.
- 26：It is very creative and beautiful.
- 27：ステンドグラスを付ければ、神様が神秘的に光っているように見えるから。
- 28：The church will look more inviting and welcoming.

- 29：背が明るくにぎやかで過ごす。
- 30：もともとはステンドグラスはあまり好きではありませんでしたが、長崎の教会、二俣川のクリスマスにセロファンで作られたステンドグラスのような絵柄なら良いと思いました。
- 31：聖堂正面にせっかく「対」に窓があるので設置が望ましい。
- 32：信徒の希望があればステンドグラス化もOK。建設当時は明るい雰囲気のある教会、聖堂にしたいとの事でステンドグラス窓は採用せず。建築基準法による防火仕様の要あり。サッシ枠が二重になっていない為、工夫、コストの検討も重要。
- 33：大切な場所を美しく飾りたいと思うのは当然です。素敵な教会にしたい。(3)
- 34：心が落ち着き、祈りに入りやすい。(2)
- 35：昨年の手作りステンドグラスに26の十字架が入っていたことに感動しました。ステンドグラスをとりつける時にも26の十字架が入っていることを望みます。
- 36：姜神父様も意向としてもっておられるから。(2)
- 37：神のみ心ですね。
- 38：十字架の道行きを参考に(以下省略)。
- 39：今後検討することに賛成ですが、今ではないと思います。
- 40：検討した上で中止も有。デザイン、費用など考えるべき。朝昼はキレイ夜は暗い。
- 41：費用の問題や聖堂の明るさへの影響、開閉への影響を検討して賛否を決めたい。
- 42：本当に必要かどうか時間をかけて討議した方が良いと思います。
- 43：ステンドグラス設置に反対ではありませんが、お御堂の全体の雰囲気が質素なのでその雰囲気を大事にしてもらえたらと思います。
- 44：常にとすると望まないです。現在の状況が好きです。常設ではなく取りはずして飾るといのはいかがでしょうか。頑丈な木の枠に作成するなど。

【反対総数14名：コメント有り12名、チェックのみ2名】

- 1：シンプルにデザインされている聖堂には似つかわしくない。
- 2：照度が低くなり暗くなりそう。全体的なバランスから前方窓だけにステンドグラスはバランスが悪い。
- 3：両サイドの窓から光が差し込む祭壇が美しいので、シンプルである美しさが好き。
- 4：シンプルな自然の光の中でも、キリストの輝きを感じられるように祈り深めたい。
- 5：反対というか必要がない。窓の幅が狭く座った場所によっては半分しか見えない。そのことに経費を使う必要は無いように思う。
- 6：コロナで全信徒への周知も難しく、今早急にすることでは無いかと思う。
- 7：他の課題が優先順位として高いと考えるため。
- 8：永久に絵柄が変わらないステンドグラスより、その時々にあった手作りのセロハンのステンドグラスで良いと思っているから。
- 9：いろんなデザインを毎年子供達と作るのが良い。
- 10：中高生と青年会が協力して作業する機会を大切にしたいです(縦のつながりを)。聖堂で静かに祈るとき正面の復活のキリスト像だけに集中することが大事です。コロナ禍で行事がなく予算が浮いているからでしょう、他にお金を使うことがあるでしょう。教会の見た目より内側を美しく。
- 11：学生がつくった。未来へ残すべきだと思う。
- 12：現在の世界の状況、日本のコロナにより生活に困る人が多い中、お金はその人たちのために使いたいです。シングルマザー、その日の生活に困る人のための食料配布など…どこかの教会のお手伝いでも教会らしい働きに目を向けてみてはどうでしょうか。クリスマスの時のステンドグラスのように、シーズン、イベントでも十分に嬉しく素晴らしいです。

2022年9月11日 教会委員会



マリア会通信 No. 120

虫の声に秋の訪れを感じるようになりました。皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか？

マリア会各会の活動は、コロナ感染防止対策をしながら再開しました。

各会の活動状況をお伝えします。

・ステラマリス帽子を編む会

活動日は月2回第3金曜日（10/21）と第4木曜日（10/27）ミサ後～13：00の予定です。

・ポリビア支援グループ

対面販売が難しいので、ジャムの予約販売を開始いたしました。詳細は掲示板をご覧ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

・アンナ会

活動日は月2回 第2月曜日と第4月曜日 10:00～12:00

10/10は祝日ですので活動日が変更になります。10/17・10/24です。

・野のゆり会は、5月に会の解散申し出がありました。9月をもちましてホームページより削除いたしました。閉会いたしましたこと改めてご報告いたします。

各会ともいつからでもご自由に見学参加いただけます。いつでもお待ちしております。

マリア会 H. I.

お詫びと訂正：『二十六聖人』8月号の2ページ左側の列で、**もう八月となり**、の段落の13行目、・・・という表の裏で、 は・・・という表のその裏で、が正しい文章でした。確認が不足し間違えてしまい申し訳ありません。お詫びして訂正いたします。 広報委員会

【編集後記】

今年の4月から教会ホームページの更新並びにレンタルサーバー側のPHPの更新を試みて参りましたが、現在の広報委員会委員では更新等の業務に技術的な限界があると判断しましたので、教会委員会報告の通り、業務の一部を外部業者に有償で委託することになりました。皆様のご理解を賜りますよう宜しくお願いいたします。 [S. O. 記]